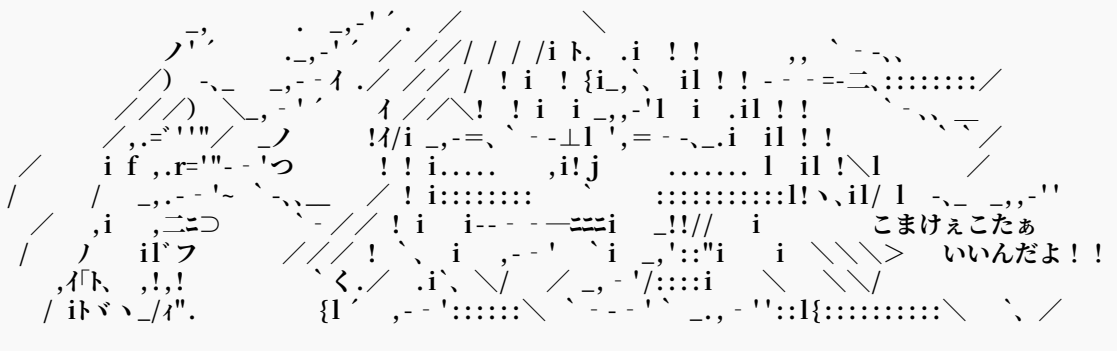
海の広さに比べれば、ちっぽけな話さ！

４７話の格言。
塔子がサッカーボールを綱海に当ててしまった際、謝る塔子に綱海が言った台詞。
綱海初登場の回だけあって、彼の性格をよく現した発言と言える。

海の男の度量の広さを感じさせる。
同時に、何もかもどうでもいい気分にさせてくれる。

影山の犯罪の数々も、
サッカーボールで学校が破壊できるのも、
宇宙人がサッカーで攻めて来たのも、
角馬がどうやってキャラバンについて来てるのかも、
染岡さんの怪我が入院後なぜか悪化していたのも、
円堂がサッカー技でさえない技でエイリア石を砕いたのも、
海の広さに比べれば、ちっぽけな話である。



【関連】
綱海
影山のせい
超次元